



さわやかな宇南生と共に

教頭 藤田 泰

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育のために一方ならぬご支援・ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

四月に教頭として着任して、早くも六か月余りが過ぎ、月日の経過の早さを改めて感じております。半年勤務しまして、驚いたことが二つあります。

一つは、多くの生徒がよく挨拶をすることです。最初の頃は、真つ黒に日に焼けた男子生徒が多く、運動部の生徒達であろうと思っておりました。6月の早朝、廊下を歩いてみると、何時ものように、生徒達が挨拶をします。その姿が如何にも若人らしく、思わず「さわやかだね」と返しました。その日から、挨拶の声が一段と増え、今では、女子も男子生徒と共に「お早うス」「ちわス」と挨拶をするようになってきました。

もう一つは、家庭学習の少ない生徒が多いことです。6月に行われた家庭学習調査によると、平日の家庭学習時間が一時間に満たない生徒諸君が多く、大変残念に思いました。もともとと主体的に学ばなければなりません。

高校で学ぶ理由には、「何らかの資格を取るため・教養を深めるため」など、様々なものがあると思います。しかし、私は未知なる領域に一步でも踏み込み、視野を広げると共に、氣力を養いそれらをもって豊かに生き、ひいては社会に貢献できる人間の基礎を形成するためと考えます。学ぶ時には全神経を集中する・部活動を行う時には全力を出す・学校行事等において楽しむべき時には大いに楽しむ。そのような高校三年間であって欲しいと願います。

二学期に入り、三年生はまさに進路実現のための正念場を迎えております。努力を惜しむことなく全力をもって、最後まで頑張つて欲しい。また一・二年生には、先輩たちの目標に向かって懸命に走る姿をしつかり見つけ、必死に物事に取り組む姿勢を学びとって欲しいと思います。

高校の三年間は、人生の方向を決める重要な時期であります。混沌とした時代ではありますが、将来、夢と希望を持って、しっかりと歩いてゆける社会人となる

れるよう保護者の皆様と共に指導にあたっていきたく思います。よろしくお願いいたします。



宇南で野球!

副会長 江面 昌典

子供が学童野球を初め、中学校の部活も野球部。せっかく野球を始めたので、当然高校野球で甲子園に一番近い学校で野球をしてもらいたいと思い、「県立高で甲子園に一番近く、進路についても問題無い学校『宇南』となりました。

私は「宇南を狙ってくれ!」と願い話合つたところ、子供が「宇南を目指す!」と言つてくれて一安心。しかしそこからが又問題です。親子共々宇南に行きたいと言っても、入学出来なければ宇南で野球は出来ない訳で、受験当日までひたすら猛勉強!したのやらどうやら...

努力の甲斐あつて?無事宇南へ入学する事になり、子供は念願の野球部へ入部。すると保護者も保護者会へと入会となり、応援Tシャツと帽子が用意されます。それを着用して公式戦応援に行くのが楽しみで、この夏終わるまで全ての公式戦へ行きました。

入部後、初めて公式戦の応援に行き、宇南の応援席へ入ったとき、最初に感じた事が応援団とその応援に来てくれている保護者の数。それに保護者の方が着ているシャツで宇南野球部カラーに染まったスタンド。それを見て、保護者も一丸となって応援に力を入れているのを感じ



取りました。中にはファンの方も居て、一生懸命応援している姿は学童野球や中学校野球部時代には見られない光景でした。

宇南野球部は全員が真剣に甲子園を目指し、スタンドで応援している選手はベンチの選手を盛り上げ、ベンチの選手はスタンドで応援している選手の分も背負いながら甲子園に向け、一つ一つの試合を頑張っています。今後もそれは変わらないことでしょう。

宇南野球部に入り保護者の私も学んだ事は絶大で、この経験は大きく生かされることと思います。又PTA活動も同じ事です。現在のPTA執行部は野球部の保護者が多数参加しており、その野球部の保護者より推薦され、現在副会長としてPTAの運営に携わっております。親子で「宇南で野球!」の思いが無ければ、PTA活動にも参加できなかつただろうし、野球の応援席で感じ取った事等、全てを含めて親子共々「宇南で野球が出来て良かった」と感じました。

### PTA八校球技大会

七月四日(日) 雀宮中学校において球技大会が開催されました。

朝までの雨が上がり、久しぶりに出た太陽の元でソフトボールが新田小と、バレーボールは雀宮中央小と対戦しました。

バレーボールは15対11・15対13と接戦の末、惜しくも負けてしまいました。選手の間には生き生きとしてチームワーク抜群でプレーしてくれました。

そしてソフトボールは新しいユニホームが太陽に映えて、本校優勢で試合を進びました。最終回で逆転され5対8で敗れましたが、よく走り、よく打って頭脳プレーを発揮しさすが年の功でした。

大会に出られた選手の方々は、お疲れ様でした。夜のビールは、さぞやおいしかった事でしょう!!



### PTA交通街頭指導

生活指導部

九月二十七日(月) 二十九日(水)まで交通街頭指導が行われ、朝の登校時間に雀宮駅東南の踏切・マルカ冷蔵・本校南側東谷交差点の三ヶ所で立哨しました。前半の二日間は、雨の中での指導となりご苦労様でした。

最近自転車による事故が年々増加しています。生徒たちには、交通ルールや安全な登下校が出来るよう自分で責任を持って行動してほしいものです。特に朝の時間には、余裕を持って登校出来るように願っています。それには、家庭の中でも「ひと声」かけて生徒たちを促してあげましょう。

そして学校・家庭・地域の皆様と協力し、生徒たちを交通事故等から守って行きましょう。



### PTA連合大会

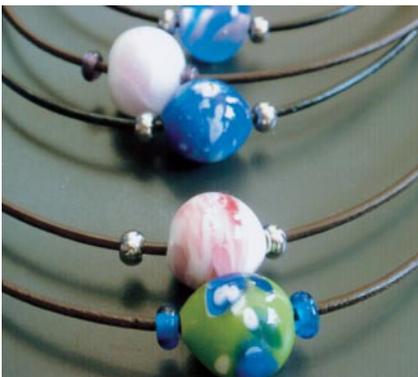
PTA副会長 篠崎 律子  
関東地区大会(神奈川大会)

七月八日〜九日、開港一五〇周年を迎えた国際都市横浜のパシフィコ横浜で開始されました。初日は、脚本家・山田太一さんによる「出会った人々を糸口に」と題した記念講演が行なわれ、翌日には「高校教育とPTA」について発表の分科会に参加しました。

### ●全国大会(東京大会)

八月二十日〜二十一日、全国よりPTA関係者一万二千人が日本武道館に集まりました。初日の基調講演では、トヨタ自動車の張富士夫会長より、現在の新社会人の実情に触れ、これからの社会や企業で活躍していく人材の要件についての提言がありました。その後、昭和女子大では、子供の自立・自律を育み支援する「キャリア教育」の重要性について、講演やパネルディスカッションが行なわれました。

時代の変化により、子供達を取り巻く環境も変化していく中、子供や学校に今後どう接し、関わっていくかを考えさせられる有意義な大会となりました。大きな可能性を秘めた子供達の健やかな成長のために、PTA活動を通し、あるいは親として、サポートしていければと思います。



### 秋の研修会

『とんぼ玉』作り

研修部

二回目の研修会が十月二日(土)に化学室にて行われました。

講師に館下規生先生をお迎えし、研修部長さん等のご指導のもと、「とんぼ玉」を制作しました。皆さん作りたいたいのガラスの棒を溶かし、鮮やかな色で世界に一つと同じ物が無いとんぼ玉を完成させていました。その時の表情は真剣そのもので、一点をみつめ汗をかきながらも丸くなりますようにと折りながら作業を進めていました。さらに手を加え、携帯ストラップやネックレスに仕上げ帰る時には、皆さん身につけて帰る事が出来ました。来年は是非他の皆さんも参加さず参加されてはいかがですか?

